

第65回日本核医学会学術総会
第45回日本核医学技術学会総会学術大会

Work in Progressのご案内

2025年11月13日（木）～15日（土）

京都市勧業館 みやこめっせ

（京都府京都市左京区）

第65回日本核医学会学術総会
会長 大野 和子

（京都医療科学大学医療科学部放射線技術学科）

第45回日本核医学技術学会総会学術大会
大会長 太田 三恵子

（岐阜県総合医療センター 中央放射線部）

第 65 回日本核医学会学術総会

開催にあたってのお願い

——医学・薬学をリードする核医学診療になるために——

日本核医学会第 65 回学術総会開催にあたり、いつも、核医学診療・核医学研究へのご支援をいただいております、関係各社の皆様へ学術総会成功に向けたご支援をいただきたく趣意書を送らせていただきます。

核医学診療は 60 年以上の利用の歴史のなかで、認知症診断や術前の患者状態の把握に不可欠という地位を確立することができました。この状況は、新薬の研究開発に注力いただいた製薬メーカーの皆様、また高性能の撮像装置と画像処理技術を研究開発くださった医療機器メーカーのご尽力、安全な診療実施に不可欠な計測等の安全管理システムを提供いただいた皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。これらにより、世界中で数多くの人々が安心して暮らせる社会が構築されています。

現在はさらに放射線治療の創薬技術が華々しく進歩し、毎年のように新たな放射性医薬品が承認され実用化されています。核医学治療は手術とは異なる患者に優しい治療法として、ますます期待されるようになっていきます。今まさに診断と治療を大きく変え、医学・薬学をリードする核医学診療となる好機ととらえ、第 65 回学術総会では医療系だけでなく装置の基礎的な開発を担う工学系の学会とも垣根を越えたコラボレーションを図り、核医学診療を中心とした新たな治療体系を創造する場にしたいと考えています。

具体的には以下の 6 点を今回の特別な企画として立案しております。

1. 日本で初の現地開催となる IEEE Nuclear Science Symposium, Medical Imaging Conference, and Room Temperature Semiconductor Detectors Symposium 2025 (2025 IEEE NSS MIC RTSD)<https://nssmic.ieee.org/2025/> との、装置の基本技術開発とその応用に関する共同開催プログラム
2. 日本磁気共鳴医学会との PET-MRI の共同シンポジウム
3. IVR による放射性医薬品の利用に関するワークショップ
4. 医学会全体の協力を得るために、日本医師会組織の一つである放射線科専門医会・医会 (JCR) による JCR アワー
5. 国民への核医学診療への理解を深めることを目的とした、複数のがん患者会の会員とのリモート会議
6. 次世代へ繋ぐために、医療関係者を目指す高校生の学会参加

このような本大会独自の計画に是非ともご賛同いただきご支援を賜りたいと存じます。

錦秋の京都でみなさまにお目にかかれることを楽しみにお待ちしております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2025 年 1 月吉日

第 65 回日本核医学会学術総会

会 長 大野 和孝

(京都医療科学大学医療科学部放射線技術学科)



第45回日本核医学技術学会総会学術大会

開催にあたってのお願い

時下 ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

この度、第45回日本核医学技術学会総会学術大会の大会長を務めさせていただくにあたり、ご挨拶とご案内を申し上げます。

第45回日本核医学技術学会総会学術大会は、2025年11月13日（木）・14日（金）・15日（土）の3日間、会場は京都市の京都市勧業館 みやこめっせ にて、第65回日本核医学会学術総会（大野和子会長 京都医療科学大学医療科学部）との合同で開催いたします。学術大会は過去に京都で何度も開催されていますが、京都市左京区岡崎に建つ京都市勧業館 みやこめっせ での開催は初めてとなります。岡崎地域は、東山連峰と琵琶湖疏水を背景に、京都市京セラ美術館、ロームシアター京都、国立近代美術館、京都府立図書館、平安神宮、京都市動物園などの施設が集積する京都の象徴的な文化ゾーンです。この素晴らしい環境と歴史の息づく地において、京都最大規模の展示場 みやこめっせ にて開催します。また今回は、会長、大会長ともに女性が担当し、いつもとは違った大会となることは間違いなしです。

COVID-19が5類感染症に移行されて以降、人々が集まる機会が多くなり、改めて顔を合わせた議論から様々なアイデアが生まれることが認識されています。本大会も会員の資格更新などに必要な教育講演はオンデマンド配信としますが、主体は現地会場とし、より多くの方々に会場へ来ていただくプログラムを提供します。

本大会のテーマは「結像と観象 核医学と人の未来」(Imaging and Observation of the Inner Body Prospects of Nuclear Medicine and Humanity) としました。新薬の開発や利用が進み、核医学領域は臨床・研究ともに活気が戻りつつあります。私達はこのような好機に開催する学術大会を是非とも成功させ、その後の更なる発展に繋げられるように尽力いたします。

開催にあたりましては、諸経費ご多端の折、是非とも各社様のご賛同を賜りたく、何卒、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

2025年1月吉日

第45回日本核医学技術学会総会学術大会

大会長 太田 三恵子

(岐阜県総合医療センター 中央放射線部)



開 催 概 要

■会議の名称： 第 65 回日本核医学会学術総会・第 45 回日本核医学技術学会総会学術大会

■会 長： 大野 和子（京都医療科学大学医療科学部放射線技術学科）
大 会 長： 太田 三恵子（岐阜県総合医療センター 中央放射線部）

■会 期： 2025 年 11 月 13 日（木）～15 日（土）

■テ ー マ： 「結像と観象」核医学と人の未来

■会 場： 京都市勧業館 みやこめっせ 各展示場、大会議場、各会議場
〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 9 番地の 1



【みやこめっせアクセス】

■参加予定数： 約 2,500 名

■参加対象者： 核医学・放射線関連分野に携わる臨床・基礎医師、診療放射線技師及び医師・薬学関係者、
基礎研究者、初期研修医、大学院生、学生、留学生、看護師、企業関係者等

『企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針』 (透明性ガイドラインについて)

本会は、日本製薬工業協会、日本医療機器産業連合会の団体が定める「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針（透明性ガイドライン）」をはじめとする関係諸規範およびその精神に従い、医療機関等との関係の透明性に関する企業方針を理解し、協賛会社による本会の拠出金額等の情報開示に同意します。

2025 年 1 月吉日

第 65 回日本核医学会学術総会
会 長 大野 和子
(京都医療科学大学医療科学部放射線技術学科)



第 45 回日本核医学技術学会総会学術大会
大 会 長 太田 三恵子
(岐阜県総合医療センター 中央放射線部)



I. Work in Progress 開催概要および広告掲載募集要項

開催概要

■開催日時

会期中3日間のいずれか（1セッション40～120分間）

■会場

京都市勧業館 みやこめっせ 各展示場、大会議場、各会議場

※200席程度の会場を予定。座席数は増減の場合があります。

■内容

核医学装置、放射性医薬品、画像解析、線量推計、遮蔽材などの分野における、学術的な内容をご紹介します。1セッションについて4社程度での開催となります。

発表時間は10分、15分、20分のいずれかといたします。

発表内容に合わせて以下の広告をプログラム集へ掲載いたします。

広告掲載募集要項

■広告媒体名

第65回日本核医学会学術総会・第45回日本核医学技術学会総会学術大会 プログラム集

■配布対象

第65回日本核医学会学術総会・第45回日本核医学技術学会総会学術大会 参加者・関係者

■発行予定日

学会当日 ※広告掲載会社には1部郵送いたします。

■部数／版型

約5,000部（予定）／B5サイズ

■募集社数

4社以上（予定）

■広告掲載料

後付4頁（カラー）320,000円（税抜き）（税込み：352,000円）

※Work in Progress 発表費用含む

■広告掲載料予定総額

1,280,000円（税抜き）（税込み：1,408,000円）

■媒体制作費

5,306,396円（税抜き）（税込み：5,837,036円）

■Work in Progress プログラム内容

7月初旬頃までに講演テーマ、演者等のプログラム内容をご決定ください。お申し込みいただきました順番・内容等により調整させていただきます。

■お申し込み締め切り

2025年6月9日（月）

■原稿締切日

2025年7月4日（金）

※広告は完全版下（イラストレーターデータ、トンボ付き PDF 等）でメールにて運営事務局までご提出ください。当方での版下作成はいたしません。

※データ入稿について、イラストレーターの Ver. は CS3 以下にてお願いいたします。

※印刷用データ（イラストレーターもしくは PDF）でお願いいたします。

■お申し込み方法

以下の URL よりオンラインでお申し込みください。

https://www.entry-sys.net/form/jsnmjsnmt2025/jsnmjsnmt2025_fm3_1/

※お申し込み受理後、運営事務局よりご連絡いたします。お申し込み後 1 週間経過しても連絡がない場合は、大変お手数ですが運営事務局までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

■その他

Work in Progress 開催および広告掲載に関する請求書を運営事務局よりお送りいたしますので、指定口座へお振込みください。

■お問合せ先

運営事務局：株式会社コングレ 大阪本社内

担当：上原／清野／小柴

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-51 Nakanoshima Qross 未来医療 R&D センター11 階

E-mail：jsnm-jsnmt2025@congre.co.jp

Ⅱ. 収支計画書

【収入の部】

項 目	数 量	金 額 (税込み)
I 参加費	参加想定数 2100名	36,230,000
1. 会員(事前)	@16,000 × 1200名	19,200,000
会員(当日)	@18,000 × 500名	9,000,000
2. 非会員(事前)	@20,000 × 160名	3,200,000
非会員(当日)	@22,000 × 150名	3,300,000
3. 看護師(事前)	@5,000 × 20名	100,000
看護師(当日)	@5,000 × 10名	50,000
4. 初期研修医・学生(事前)	@2,000 × 10名	20,000
初期研修医・学生(当日)	@2,000 × 50名	100,000
5. 情報交換会会費	@5,000 × 250名	1,250,000
6. プログラム集	@2,000 × 5名	10,000
II セミナー共催費		44,110,000
1. ランチョンセミナーA	@2,420,000 × 3社	7,260,000
2. ランチョンセミナーB	@1,980,000 × 6社	11,880,000
3. ランチョンセミナーC	@1,650,000 × 10社	16,500,000
4. スイーツセミナー	@1,815,000 × 2社	3,630,000
5. スポンサーシップ	@2,420,000 × 2社	4,840,000
III 展示会収入		5,165,000
1. 機器・医療展示出展料	一式	5,000,000
2. 書籍展示	@16,500 × 10本	165,000
IV 広告収入		5,379,000
1. プログラム集		
表4(カラー1頁)	@242,000 × 1社	242,000
表2、表3(各カラー1頁)	@187,000 × 2社	374,000
後付1頁(モノクロ)	@132,000 × 10社	1,320,000
後付1/2頁(モノクロ)	@77,000 × 10社	770,000
2. ホームページバナー広告	@121,000 × 5社	605,000
3. WEB抄録・アプリバナー広告	@330,000 × 2社	660,000
4. Work in Progress	@352,000 × 4社	1,408,000
V 学会準備金		3,000,000
1. 本部補助金(日本核医学会)	一式	2,000,000
2. 本部補助金(日本核医学技術学会)	一式	1,000,000
VI 寄付金		7,500,000
1. 企業・関連団体寄付	一式	7,500,000
VII その他		500,000
1. 関連会合会場費、備品費等	一式	500,000
2. 利息	一式	0
合 計		¥101,884,000

【支出の部】

(単位：円)

項 目	金 額 (税込み)
I 事前準備費	24,443,956
1. 事前準備人件費	8,248,000
2. 演題処理関係費	1,154,200
3. 抄録集・プログラム集制作関係費	5,837,036
4. ホームページ・抄録アプリ制作関係費	2,080,000
5. 印刷・制作物関係費	3,580,220
6. 会議費	1,106,000
7. 事前参加登録システム運用費	1,720,500
8. 通信・運搬関係費	231,000
9. 消耗品費	77,000
10. 視察費	410,000
II 当日運営費	69,810,159
1. 会場費	12,118,434
2. 会場附帯設備費	2,000,000
3. 機材費・WEB開催関係費	18,407,825
4. 看板装飾、ポスター・展示会場費	8,069,700
5. 運営人件費	12,276,200
6. 備品関係費	473,000
7. 諸会合関係費	9,990,000
8. 招待・接遇関係費	6,475,000
III 事後処理費	1,943,200
事後処理費	1,943,200
小 計	96,197,315
管 理 費	5,686,685
中 計	101,884,000
予 備 費	0
合 計	¥101,884,000